

久御山町まちづくりシンポジウム

平成30年10月13日

開会あいさつ



久御山町長 信貴康孝

これからの久御山町がめざしていくまちの姿を、次のとおり「まちの将来像」として掲げています。

つながる心

みなぎる活力

京都南に「きらめく」まち

～夢いっぱい コンパクトタウン くみやま～

■まちづくりの理念

「人」の視点

- ①夢と希望にあふれたまちづくり
- ②健康で明るい住民生活優先のまちづくり
- ③平和で人権を守るまちづくり

住みよい 希望に満ちた町

久御山町

「環境」の視点

- ④恵まれた自然に
つつまれたまちづくり

「協働」の視点

- ⑤住民がともに手を取り
携えて進めるまちづくり

まちづくりの指針を示す「総合計画」

- 平成28年4月に、「久御山町第5次総合計画」を策定。
- 平成37年度まで、10年間のまちづくりの指針を示す。

■まちの将来像

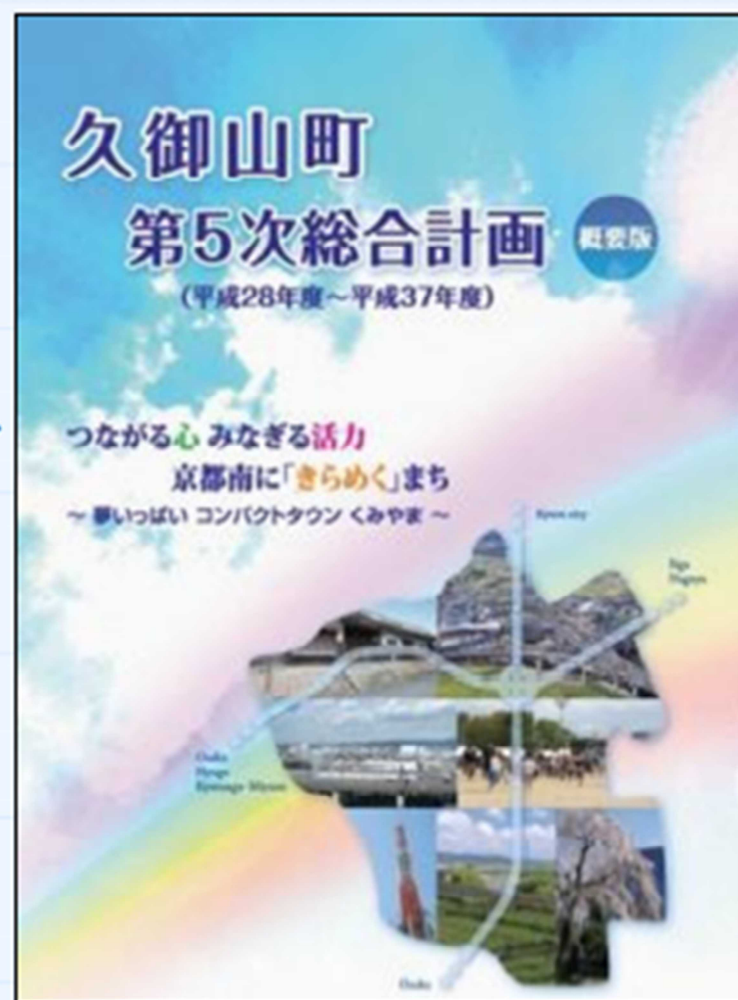
つながる心 みなぎる活力

京都南に「きらめく」まち

～夢いっぱい コンパクトタウン くみやま～

■まちづくりの基本理念

住みよい 希望にみちた町 久御山



人口フレーム(総合計画、都市計画マスタープラン)

人口フレーム(めざす目標)

平成37年度 16,000人

- 現在の人口規模を維持
- コミュニティや産業が継続可能な年齢構成を維持

昼間人口フレーム(めざす目標)

平成37年度 28,000人

- 産業活力の維持
- 商工業や農業など地域産業の発展に寄与

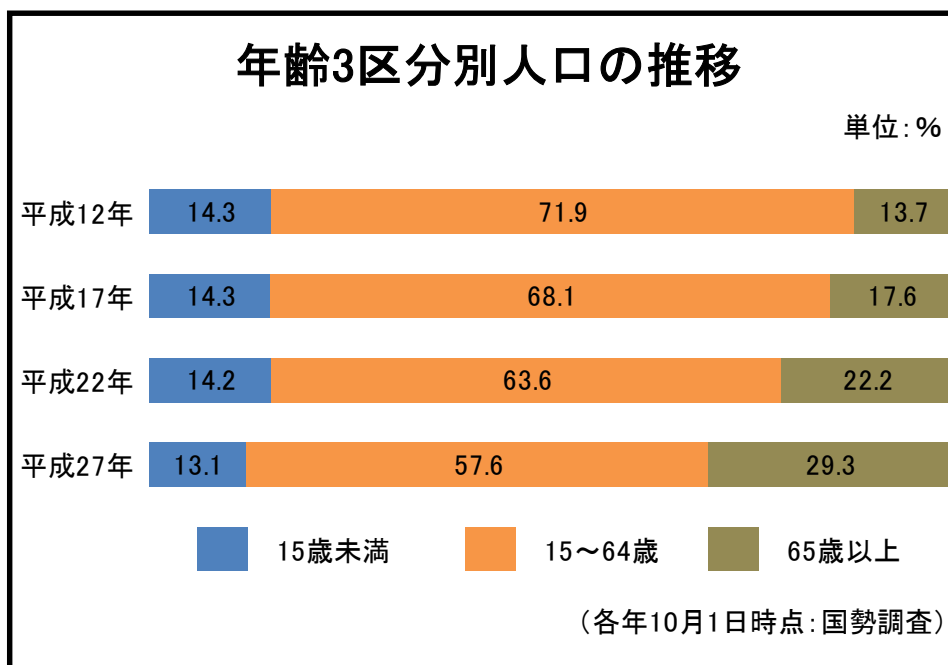
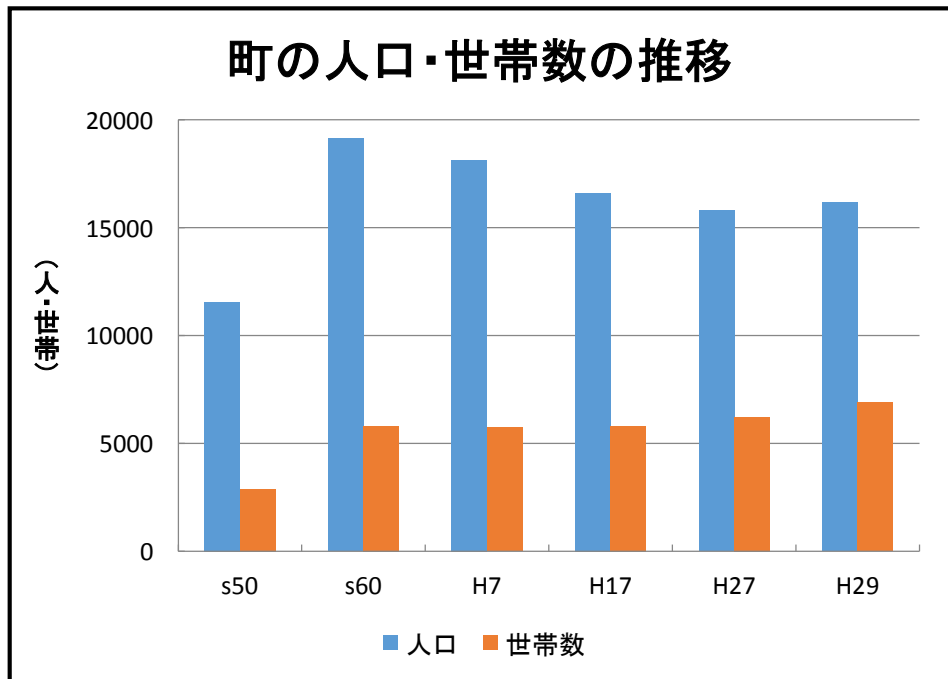
■ 土地利用構想

<まちの概況>

- ・面積13.86km²のコンパクトなまち
- ・京阪神の交通要衝のまち
- ・「ものづくり」と「農業」のまち

<土地利用の課題>

- ・少子高齢、人口減少社会への対応
- ・子育て世帯に選ばれる魅力づくり
- ・交流人口の増加と産業の維持発展
- ・自然環境との共生
- ・安心安全に暮らせるまちづくり
- ・住民や事業者との協働



<土地利用のイメージ>

- ・都市機能の集積とアクセス向上
- ・農業振興との調和
- ・住民、事業者との協働

- ◎既成市街地ゾーン
- ◎産業立地促進ゾーン
- ◎住街区促進ゾーン
- ◎土地利用促進エリア
- ◎産業活用促進エリア
- ◎将来市街化検討エリア



まちづくりの実現に向けて

- ・住民の皆さんに、これまで以上に町政へご参画を頂きながら共に成し遂げたい。
- ・国や府などと密な連携を図り、施策の実現を図りたい。



よろしくお願いいたします。

コンパクトタウンくみやまイメージ＜素案＞

○ものづくり、生活、福祉、行政などの都市機能の集積

○町域の東西南北周縁で優良農地を維持確保し、農業振興と調和したまちづくり



<久御山町全景(田園エリア)>



<久御山町全景(ものづくりエリア)>



<久御山JCT>
北ランドマーク



<巨椋池排水機場>



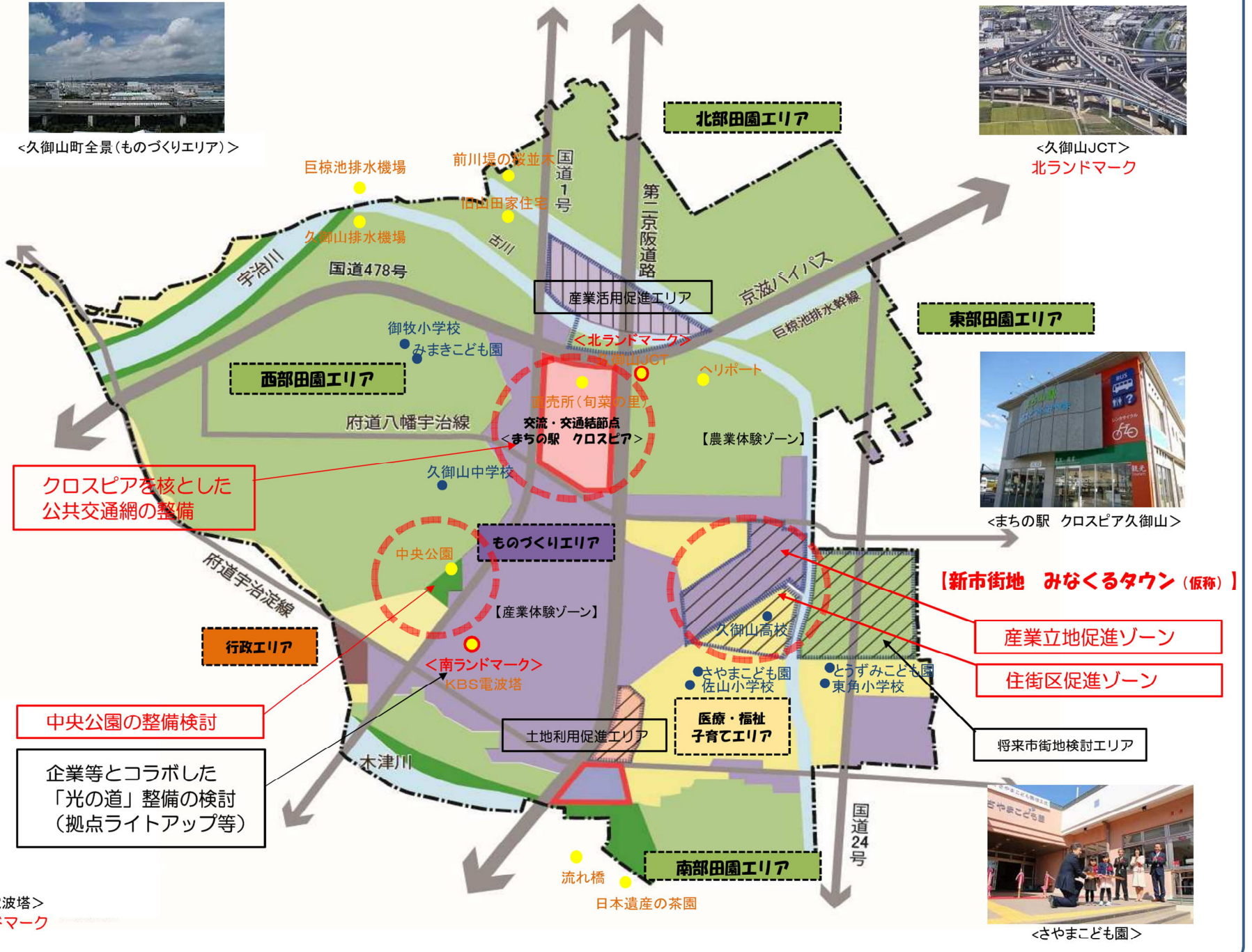
<旧山田家住宅>



<中央公園>



<KBS電波塔>
南ランドマーク



中央公園の整備検討

企業等とコラボした
「光の道」整備の検討
(拠点ライトアップ等)



<まちの駅 クロスピア久御山>

【新市街地 みなくるタウン (仮称)】

産業立地促進ゾーン

住街区促進ゾーン

将来市街地検討エリア



<さやまこども園>